

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	動物愛護センター		所在地	岡山市北区御津伊田2750			
敷地面積	48,584.37 m ²		棟数	8 棟 (計画記載対象 3 棟)			
延床面積	2,247.82 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象			
設置目的	狂犬病予防法に基づく野犬の捕獲・収容業務、動物愛護法に基づく猫及び負傷動物の保護・治療業務、保護・収容した動物の譲渡業務、犬のしつけ方教室、ふれあい教室などの動物愛護管理業務を行う事務所						
【想定される自然災害】							
予想震度	5強		津波	-		浸水	-
建築規制	都市計画区域外						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	226,662 kWh	46 m ³	1,658 m ³	267 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし						

1 施設内建物の概況

名称	管理棟	保護棟	愛護館
築年(西暦)	2005年		2005年
構造	鉄筋コンクリート造 1階		鉄筋コンクリート造 1階
建築面積	456.70 m ²		408.36 m ²
延床面積	446.00 m ²		404.01 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 1室・所長室 1室 動物の治療・検査等 6室 会議室 2室・資料室 1室	事務室 1室・倉庫等 2室 動物収容関連 5室 処分室 1室・洗浄室 1室	事務室 1室・授乳室 1室 展示ホール1室・研修室 1室 倉庫 1室・準備室 2室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備	空調設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備
利用状況	高		高
耐震性 ※1	有		有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	
	中性化 ※3	—	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

動物愛護センター敷地内にある設備等は、平成17年度に完成したものであり、劣化も進んでいないため、今後も引き続き予防保全を図り、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
管理棟	・予防保全を図る。
保護棟	・予防保全を図る。
愛護館	・予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

・動物愛護センター敷地内にある設備等は、平成17年度に完成したものであり、劣化も進んでいないため、今後も引き続き予防保全を図り、使用を継続する。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
管理棟	予防保全		 予防保全を図る。								
保護棟	予防保全		 予防保全を図る。								
愛護館	予防保全		 予防保全を図る。								

4. 概算費用

--